

令和3年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和3年8月6日

上場会社名 新日本製薬株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4931 URL <https://corporate.shinnihonseiyaku.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 後藤 孝洋
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 田上 和宏 (TEL) 092(720)5800
 四半期報告書提出予定日 令和3年8月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 令和3年9月期第3四半期の連結業績(令和2年10月1日~令和3年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
3年9月期第3四半期	25,289	—	2,400	—	2,419	—	1,624	—
2年9月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 3年9月期第3四半期 1,624百万円(—%) 2年9月期第3四半期 ー百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
3年9月期第3四半期	75.24	74.50
2年9月期第3四半期	—	—

(注) 令和3年9月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、令和2年9月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
3年9月期第3四半期	20,905	15,976	75.7
2年9月期	—	—	—

(参考) 自己資本 3年9月期第3四半期 15,820百万円 2年9月期 ー百万円

(注) 当社は、令和3年9月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、令和2年9月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2年9月期	—	0.00	—	30.00	30.00
3年9月期	—	0.00	—	—	—
3年9月期(予想)	—	—	—	32.50	32.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和3年9月期の連結業績予想(令和2年10月1日~令和3年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	—	3,500	—	3,460	—	2,300	—	106.14

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2. 当社は、令和3年9月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
 新規 2社(社名) 株式会社フラット・クラフト、除外 1社(社名) 株式会社フラット・クラフト準備会社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	3年9月期3Q	21,855,200株	2年9月期	21,611,300株
② 期末自己株式数	3年9月期3Q	198,885株	2年9月期	190,140株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	3年9月期3Q	21,596,658株	2年9月期3Q	21,583,680株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なっている可能性があります。
 (決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について)

当社グループは、令和3年8月6日(金)に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会をオンライン配信する予定です。この説明会で使用する決算補足説明資料は、TDnetで本日開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(追記情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況が続く、経済活動や個人消費に大きな影響を与えております。ワクチン接種の進展や感染防止対策を講じることで経済活動の緩やかな回復が見込まれますが、変異ウイルス等による感染再拡大の懸念もあり、依然として先行き不透明な状況が続くと予想されます。

このような市場環境のもと、当第3四半期連結累計期間におきましては、長引く新型コロナウイルス感染症により直営店舗や取扱店への来店客数が減少したことによる影響などを受けましたが、主力の通信販売においては各施策が順調に進捗しました。

通信販売においては、既存顧客に対する「パーフェクトワン 薬用リンクルストレッチジェル」によるアップセルが第2四半期に引き続き好調に進捗しました。また、コールセンターのコミュニケーターによる積極的な商品提案により、UVケア商品を中心とした季節限定商品によるクロスセルが好調で、定期顧客に対する受注成約率は過去最高水準を推移しております。その結果、通信販売の売上高は想定を上回って進捗しております。

直営店舗販売・卸売販売においては、引き続き厳しい事業環境が続いておりますが、中島健人さんをCMキャラクターに起用したブランドCM第二弾の放送開始に合わせて全国6か所でのポップアップイベントの開催や、店舗限定キャンペーンの実施などブランド認知度の向上と顧客獲得に取り組んでおります。

海外販売においては、各地における経済活動の状況を見極めながら事業活動に取り組む中、中国ではダブルイレブンと並ぶECモールの2大ショッピングイベント「618」の売上が前年比1.8倍と好調に進捗したこともあり、海外販売の売上高は伸長しております。

スマートヘルスケア事業においてはオンラインコミュニティ「カラダマモルコミュニティ」をオープンし、ウィズコロナ時代の健康について参加者とともに考え、顧客とのタッチポイントを拡充しています。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は25,289百万円、営業利益は2,400百万円、経常利益は2,419百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,624百万円となりました。

当社は当第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同期比については記載しておりません。

なお、当社グループの事業セグメントは化粧品、ヘルスケアに関わる商品の通信販売、直営店舗販売・卸売販売及び海外販売であります。直営店舗販売・卸売販売及び海外販売の全セグメントに占める割合が僅少であり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメントごとの記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は20,905百万円となりました。主な内訳は、現金及び預金11,535百万円、売掛金2,925百万円、有形固定資産2,184百万円、無形固定資産1,472百万円であります。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は4,929百万円となりました。主な内訳は、未払金2,079百万円、買掛金480百万円、未払法人税等331百万円であります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は15,976百万円となりました。主な内訳は、資本金4,158百万円、資本剰余金4,150百万円、利益剰余金7,839百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和3年9月期の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結会計期間において、株式会社フラット・クラフト準備会社を設立し、株式会社フラット・クラフト準備会社を通じて、株式会社フラット・クラフトの全株式を取得したことに伴い、本日令和3年8月6日付「連結決算への移行及び連結業績予想に関するお知らせ」を公表いたしました。

なお、業績見通し等の将来に関する記述は、当社が当該資料の発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

 当第3四半期連結会計期間
 (令和3年6月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	11,535
売掛金	2,925
商品	1,315
その他	611
貸倒引当金	△93
流動資産合計	16,293
固定資産	
有形固定資産	2,184
無形固定資産	
のれん	1,136
その他	335
無形固定資産合計	1,472
投資その他の資産	955
固定資産合計	4,611
資産合計	20,905

(単位：百万円)

 当第3四半期連結会計期間
 (令和3年6月30日)

負債の部	
流動負債	
買掛金	480
1年内返済予定の長期借入金	173
未払金	2,079
未払法人税等	331
賞与引当金	122
ポイント引当金	214
返品調整引当金	48
その他	290
流動負債合計	3,740
固定負債	
長期借入金	714
退職給付に係る負債	168
その他	304
固定負債合計	1,188
負債合計	4,929
純資産の部	
株主資本	
資本金	4,158
資本剰余金	4,150
利益剰余金	7,839
自己株式	△329
株主資本合計	15,819
その他の包括利益累計額	
退職給付に係る調整累計額	0
その他の包括利益累計額合計	0
新株予約権	156
純資産合計	15,976
負債純資産合計	20,905

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 令和2年10月1日 至 令和3年6月30日)
売上高	25,289
売上原価	3,893
売上総利益	21,395
返品調整引当金繰入額	14
差引売上総利益	21,381
販売費及び一般管理費	18,981
営業利益	2,400
営業外収益	
受取配当金	42
その他	16
営業外収益合計	59
営業外費用	
為替差損	6
投資有価証券評価損	27
固定資産除却損	4
その他	1
営業外費用合計	39
経常利益	2,419
特別損失	
投資損失引当金繰入額	37
特別損失合計	37
税金等調整前四半期純利益	2,381
法人税、住民税及び事業税	789
法人税等調整額	△32
法人税等合計	757
四半期純利益	1,624
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,624

四半期連結包括利益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 令和2年10月1日 至 令和3年6月30日)
四半期純利益	1,624
四半期包括利益	1,624
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	1,624

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

令和2年12月23日を払込期日とする有償第三者割当増資（オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資）による新株式243,900株の発行により、資本金、資本剰余金がそれぞれ332百万円増加しております。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が4,158百万円、資本剰余金が4,150百万円となっております。

(セグメント情報等)

当社グループの事業セグメントは化粧品、ヘルスケアに関わる商品の通信販売、直営店舗販売・卸売販売及び海外販売であります。直営店舗販売・卸売販売及び海外販売の全セグメントに占める割合が僅少であり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメントごとの記載を省略しております。

(追加情報)

(役員退職慰労金制度の廃止)

当社は、令和2年12月23日開催の第32回定時株主総会において、役員退職慰労金制度の廃止に伴う退職慰労金の打ち切り支給を決議いたしました。これに伴い、「役員退職慰労引当金」を全額取り崩し、「役員退職慰労引当金」に計上しておりました172百万円を「長期未払金」として固定負債の「その他」に含めて表示しております。